

## キッズケ家、日本代表に勝つ

### サッカー日本代表よりも魅力的なのか？

新年のご挨拶をするには、あまりにも遅くなってしまいました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

2013年になりました。震災からあと少しで2年が経とうとしています。先日、岩手県陸前高田市に小学校に谷川文科副大臣が訪れた際、6年の男子児童が「被災地は2年前と変わっていない。早く復興を」と訴えたという新聞記事を読みました。確かに、2年前と変わっていない所もあります。釜石、大船渡で見ても復興は遅れていると思います。当初予定されていた復興計画が進んでいないのです。そんな中、震災から2年経ち、撤退していく支援団体もあります。進まない復興と減っていく支援。これから東北はどうなっていくのでしょうか。

しかしどんな時も、希望を決して失ってはいけません。私たちは、今年も活動を続けていきます。



←仮設でのクリスマス会

去年は、5カ所で「キッズケ家クリスマス会」をしました。テーマは「最後まで一緒に楽しもう」というものでした。このテーマには、クリスマス会を最後まで楽しもうという意味や、来年も再来年もいつまでも一緒にクリスマスを祝おうという意味もあります。それを伝えると、子ども達は目を輝かせうれしそうにしていました。この1年で一番うれしかったことはと質問すると何人かのおともだちは「キッズケ家でいっぱい遊んだこと」と言っていました。泣きそうになりました。先日は、大船渡市にサッカー日本代表の選手が来る日と、キッズケ家の日がかぶってしまったのですが、いつものメンバーがキッズケ家に来てくれました。1年間変わらずに、一緒に遊んだり、聖書の価値観について考えることが出来て感謝でした。日本代表より人気になったかもしれません！

## 聞き屋で「バス停上のメリークリスマス」 in 釜石

12月25日に、釜石市内のいつも聞き屋をしているバス停で聞き屋クリスマスをしました。高校生向けにしてチラシも配りましたが、感謝なことに1人も来ませんでした。しかし、友人が駆けつけてくれたり、通行人を巻き込んでのババ抜きや、プレゼント交換も楽しかったです。



# 山口で活動報告「一緒に宣教を」と伝える



1月15日-24日の間、山口県に活動報告に行きました。16日から18日までの間、第8回中国地区コーチングネットワークが山口市で行われおり、私もそこで活動報告をさせていただきました。このコーチングネットワークの皆さんからは、2011年10月に祈って送り出していただき、僕のホームのような場所だったので報告が出来たことは本当に感謝な一時でした。また他にも私の活動のために、お祈りしていただいたり、励ましてくださっている個人の方にも報告できました。

20日の日曜日には、小郡めぐみキリスト教会と大内福音教会で活動の報告をさせていただきました。僕が、小学生の頃からお世話になっていた皆さんの前で話すのは緊張しましたが、礼拝後に「励まされた」「がんばってね」など声をかけていただき、話せてよかったと思いました。

今回、僕の報告の中で強調したのが「東北での活動は、僕一人でやっていることではありません。チームメンバーや祈って支えて下さる皆さんと一緒にやっているのだと僕は考えています。ぜひこれからも、一緒に宣教をしていけたらと思います。」ということです。休日に萩市にある「松下村塾」を見に行きました。そこは吉田松陰が近所の若者に生き方を教えた場所。あの高杉晋作も学びました。晋作は、その後「奇兵隊」を作りました。奇兵隊は、身分とか関係なく同じ志を持った人たちのチームでした。僕た

も、奇兵隊のように、力士も武士も主婦もおじいちゃんもおばあちゃんもお隣さんも「おっはー」的な感じで、同じ志持ち一緒に東北に愛が届いていくように協力できたら幸いです。

## 聞き屋山口店の一年十ヶ月を祝う

1月22日に山口市内の商店街で、聞き屋山口店が開店1年10ヶ月を祝いました。山口市で聞き屋が始まったのは、ウソみたいな話ですが2011年の4月1日でした。沖縄で、聞き屋を経験していた私が震災後に、山口で今出来ることを考えて始めたのがきっかけです。しかし、私は始めて1ヶ月で引っ越ししてしまい、せっかく始まった聞き屋もこれで終わるのかと思いましたが、いとこの岩間望くんやその仲間たちが今日まで、毎週続けていてくれました。これは、岩手で働く僕にとっての大きな励ましとなっています。私は今回、その「続けてきた」ということを、みんなで一緒に祝いたいと考えて「お祝いパーティ」を企画しました。聞き屋がきっかけで、友達が増えた方や、親を許せたという方の話を聞き、続けることで実った実を見ることが出来、大変な喜びでした。1回だけの大きな事をよりも、小さなことを続けることの重要性を改めて学ばさせていただきました。感謝でした。



## 【特集】情熱三陸：山口から岩手に短期宣教に行った男 岩間 望



岩間 望伝道師

山口県生まれの25歳。いとこは、瀬 知行。好きな食べ物は、カレーライスらしい。すごい普通だね。

Q.岩手短期宣教に行こうと思ったキッカケは？

「震災後、ずっと行きたいと思っていたのですが、方法がありませんでした。しかし、いとこが宣教師として岩手に行き、いつか自分も行けると思っていました。でも先延ばしにしていました。岩手に行った人の証を聞き、チャレンジをすることを示されました。すると一緒に行きたい人も与えられたので、行きました。」

Q.実際の活動はどうでしたか？

「仮設にチームの人と行って足湯などしました。また被災地の教会に行かせてもらって、交わりに入れてもらいました。仮設住宅のゴミ拾いや、聞き屋をしました。またハンバーガーショップの店長に話をしに行きました。」

Q.色々やってみた感想？

「山口との違いは、震災があり人々の生活が変わったこと。被災地ならではのことももちろんありますが、大きなことではなく愛がないとできないことを、OKチームやろうとしているという印象を受けました。」

Q.望さんが帰った後に、何か自分自身で変わったことはありますか？

「今までは愛をあらわすことをやっていたが、面倒くさくなくなってしまうこともありました。しかしもし、目の前の人がイエスさまだったらと考えるようになり、もっと目の前の人を大切にするようになりました。」

Q.最後にこれから行こうと思っている人に一言。

「何事も行って体験することがいいよ」

活動報告		今後の活動予定	
12月中旬	クリスマス足湯会 (大船渡)	2月中旬	キッズケ家バレンタイン (大船渡・釜石)
12月21日～24日	100人サントイベントに参加 (〃)	2月12日	映画会 (大船渡)
12月26日～29日	キッズケ家クリスマス (大船渡・釜石)	2月18～20日	JCMN サミット (愛知県豊橋市)
1月15日～24日	活動報告&証 (山口市内各地)	2月下旬	香港短期宣教チーム

### 祈りの課題

- ・今年の大船渡、釜石は例年よりも寒いです。またインフルエンザも流行り初めています。チームメンバーと、地域の皆さんの健康のためにお祈りください。
- ・JCMN サミットで、「牧師家庭の回復」というスモールグループをリードします。日本の牧師家庭について、共に祈り合える良い時間になるようにお祈り下さい。

### まただよ！全員集合

誰も興味ないだろうけどシリーズ

「私の部屋の中のブタグッズ②」



「しまむらで買ったブタのぬいぐるみ」。一応枕らしいけど飾っている。すごく可愛らしくて、胴長でダックスフンドみたい。名前は「ローズ・マリー」膝の上に乗せて、貴婦人の猫みたいになでなですると楽しい。前回の「角煮まんじゅう」と比較してみた。エサみたいになった。

瀬 知行 山口県出身 平成元年8月9日生まれ 23歳 国内宣教師&保育士

瀬知行を支える会の住所: 山口県山口市大内長野 633-1

ブログ:「ともだちだよブログ」<http://blog.livedoor.jp/tomotomodati/>

### 支援献金の方法

私の活動は皆様の支援献金によって支えられております。経済的支援にご協力して下さる方はお手数ですが、以下のいずれかの方法で口座にお振込下さい。

ゆうちょ銀行口座番号: 01350-2-99626 名義: 瀬知行を支える会

他行からの振込 店名(店番) 一三九(イチサンキュウ) (139)

預金種目: 当座 口座番号: 0099626 「瀬知行を支える会」

郵貯振替口座番号: 01350-2-99626 名義「瀬知行を支える会」